

9月議会市政報告



9月7日、第288回市議会定例会が開催されました。浜田市長は、各議案の提案理由に先立ち、市町村合併問題について、市町村合併は、住民の方々が真剣に議論し、自主的に選択することが重要で、その情報提供を行うための資料作りを進めており、当面は、香美郡下の8町村と南国市で構成する市町村合併に関する勉強会に積極的に参加し、この秋口をめどに資料の取りまとめを行う予定であること。また中国吉林省汪清県への訪問について、その概略を報告した後、主要な課題について報告しました。

人権問題

女性問題については、市政への積極的な参画を図るため、女性の人材育成の場として、7月7日から新女性人材育成講座「ウーマンソール」を開講しました。第1回講座は、高知高専の池谷江理子先生の基調講演を行いました。同和問題は、「部落差別をなくする運動」強調旬間に合わせて、7月14日に保健福祉センターで、落語家の立花家千橘さんの人権講座「心の叫びが聞こえますか!!」を開催し、市内外から約50名の参加がありました。

姉妹都市交流

南国市姉妹都市親善協会の事業として、8月24日から3日間の日程で南国市の少年柔道・剣道スポーツ交流団、約50名が岩沼市を訪問し、交流試合やホームステイ、岩沼市民夏祭りに参加するなど友好交流を行いました。



ごみ問題

この4月から家電リサイクル法が施行され、引取料金を消費者が負担しなければならなくなりましたことから、不法投棄が懸念されましたが、若干の不法投棄はあったものの、目立った不法投棄の増加は見受けられていません。今後とも注意深く監視していきます。同じく、紙類、布類の分別収集を始めていますが、市民の理解と協力をいただき、可燃ゴミは昨年同月比で4月3%、5月9%、6月6%の

減少となつていきます。なお一層の減量と再資源化を進めていきます。

介護保険事業

介護保険の実施に当たっては、特に保険料に対する理解が重要ですので、保険料にポイントを置いた説明会を老人クラブ、民生委員を中心に7月上旬から順次実施しています。あわせて、介護相談員事業を実施し、介護サービス事業者や利用者の居宅を訪問することにより、利用者やその家族の疑問、不安、不満の解消に努め、苦情に至る事態を未然に防ぐとともに、介護サービス質的な向上を図っていきます。

介護予防・

生活支援事業

配食サービス事業、生きがい対応型デイサービス事業、訪問理美容サービス事業など、約20種類の事業に取り組んでいます。特に、生きがい対応型デイ



バスケットボールリハーサル大会開会式
第31回女子全日本バスケットボール選手権大会

国体

サービス事業は、すでに市内20カ所で行われており、市内全域に広がっています。介護予防・生活支援事業は、高齢者がいつまでも元気に活動できる、活力ある高齢社会を実現していくためには不可欠な事業であり、今後も地域支援合い事業や外出支援事業を導入するなどして充実させていきます。

国体運営を円滑に行うため、各地区協会の支援、連携などを目的に「よさこい高知国体南国市地区協力会会長会」

南国市農業振興計画

この振興計画は、本市農業振興の目指す基本的な方向として、「生鮮食料供給基地構築を目指して」、「農業の持続的発展を目指して」、「農村の振興を目指して」という3つの視点から、今後3年間に実施する具体的な施策と実施方針を示しています。今後は、この振興計画に沿ったより効果的な振興策を実施し、特に認定農業者など担い手の確保・育成に努めるとともに組織化を進めていきます。

学校の危機管理

大阪・池田市の悲惨な事件で緊急の対応が求められていた学校の危機管理について、少年育成センター職員や補導関係者による地域巡回を適宜に行い、各学校での教職員による「校内巡回の強化」や「来訪者への声掛けの徹底」等に取り組みできました。今後とも学校施設の充実・改善を図るとともに、学校・家庭・地域の連携を一層強化し、地域ぐるみで子どもたちの安全確保に努めていきます。

IT講習



情報技術の進歩による急激な社会変動の中で、すべての国民がインターネットを使い、社会づくりを目的としたIT講習

の前期を6月から8月まで市内16公民館で実施し、約600名の方々が受講しました。後期は、地区公民館での講習はもとより、南国市から高知市へ通勤している市民の方でも学習できるように、高知市の2カ所を講習会場として委託し、多くの方々が受講できるように計画しています。

「島村家文書」を南国市有形文化財に指定

6月19日付け「島村家文書」(卷子本8本、冊子体5冊、一紙物20点、計33点)を南国市有形文化財に指定しました。

これは、郷土が誇る勤王の志士・島村衛吉の孫、島村六郎氏(東京在住)から平成10年に寄贈していただいたものです。幕末の志士である衛吉個人を理解することができる資料であることはもちろん、土佐勤王党の活動や明治維新を研究していく上でも重要な資料であり、後世に伝えていくべきものであります。

第13回2001 土佐のまほろば祭り



8月4日に比江山スポーツグラウンドで開催しました。まほろば鍋、将棋教室などとともに、南国工業会の協力により、各社が世界に誇る独自の技術を披露していただく企業コーナーや舞台イベントなど、南国市特有の祭りを多くの市民に楽しんでいただきました。